

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価総括表

令和6年2月28日
北海道運輸局

評価対象事業名: 令和5年度 混雑情報提供システム導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果		
十勝バス株式会社	<p>(事業実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回新たに10両にリアルタイム混雑情報提供システムを導入する。 <p>(結果の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム混雑情報提供システムを10両に導入し、より多くの方が不安なくバスを利用できるようになった。 	A	<p>機器の車両への設置期間を10月いっぱいまで見込んでいたが、納品～設置までスムーズに進み、9月末までに全10両への機器設置を終了した。</p>	A	<p>目標として、『南商あかしや線』の一月あたりの輸送人員を12,300人(前年比3%増)としていたが、集計した令和5年10月の月間輸送人員は16,090人であった。およそ35%の輸送人員増加が見られた。これは、混雑状況提供システムを導入したことで利用者が増加したためと推定できる。</p>	<p>混雑状況提供システムの利用促進を進めて、利用者の利便性向上および、バス会社・乗務員への混雑状況等のお問い合わせを減らし、全体的な業務効率改善に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のとおり、事業は計画どおり実施された。 ・混雑情報を活用し、効率的な運行を図るとともに、より多くの路線で利用者への情報提供が図られることを期待する。